

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス YELL		公表日		2025年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・机上での活動スペースと、運動、集団活動ができるブレイルームを分けた、十分なスペースが確保されている。 ・建物の構造上、個室はないが、利用定員に対してスペースは適している	法令を遵守したスペースを確保している。 個別に対応させていただく。不便を感じている方には、対応方法を検討させていただく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置している。	・急な職員の欠員や、担当者会議への参加依頼が入った日は人手不足を感じる。安全面に注意して、事故等がないように支援している。 ・職員の配置基準は満たされているが、療育をするためには足りていないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		屋外は、駐車場に段差はあるが、改善は困難である。屋内に段差は無く、構造化された環境となっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔と感染症防止の為に消毒に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・建物の構造上、個室はないが、利用定員に対してスペースは適している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		業務の役割分担を明確にし、実施していく。	
	7	保護者からの計画表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様からいただいた意見から、改善が必要と判	・まだ改善の処置あり	
	8	職員の見解等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・まだ改善の処置あり	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者評価は、行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・正規・パート社員についてはジョブメドレーの研修ツールを通して、虐待防止		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラム作成（見直し中）、公表を行政の指導に合わせて法令に基づき実施している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者面談の際に、保護者のニーズを確認し、分析・検討した上で計画を作成しています。		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画期間ごとにアセスメントをとり、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画期間ごとにアセスメントをとり、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGソフトで日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		現在が活動プログラムの立案を数人でできているが今
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		活動プログラムが固定化になっているが、内容について
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援計画に基づき課題を決め本人の状態に合わせた活動が出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		情報共有をしています。注意すべき事項は、綿密に打ち合わせしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日ではないですが、支援の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		HUGソフトで日々の支援に関して記録を取り改善が必要な場合は会議等で話し合いをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童に合わせて年2回計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数組み合わせた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		各自が利用日にスケジュールを作成し、実行する。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議前に全職員間で情報の整理を行ったうえで会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携して、必要に応じて担当者会議を開催し情報共有しています。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		HUGソフトでの情報交換・急ぎの場合は電話で連絡をしています。電話が難しいときは、Lineや連絡帳等を使用して、情報伝達を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要に応じ、移行先への情報共有等を行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		必要に応じ、移行先への情報共有等を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		専門機関に助言・指導をいただいたり、研修を受ける機会を設けていて。今後、設けていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在、交流する機会はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加できておりません
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGソフトや面談や連絡帳等を使用して、情報伝達を行っています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていないため、今後、計画したいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し伝えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		HUGソフトで児童の状況を登録して家族が見れるようになっているが、必要に応じては、送迎時や連絡帳等でその日の状況を伝えながら話をして状況や課題の共有をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容を説明を行い、保護者の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談時や電話での相談の際に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在は交流する機会はありませんが、今後は、季節のイベントを行い、保護者の集まる場を提供していきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情の窓口を設置して、苦情があった時は迅速に対応する体制を整備しています。	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUGソフトで活動の様子や行事予定見れるようになっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いに十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		HUGソフトや連絡帳等を使用して、情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域に開かれた事業運営を図っていないため、今後は計画したいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		職員間では共有し、周知している。保護者には契約時には周知されていないマニュアルもあるため、今後は周知していきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		現在定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や変更があった場合、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からアレルギーの聞き取りを行い、アレルギーの対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成していますが、安全管理に必要な研修や訓練を数人で行っている、	今後、職員全員が研修や訓練を計画して行きたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知できていないため、今後は家族に周知できるような機会を設けたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		現在は、ヒヤリハット報告書がないため、ヒヤリハットがある時は、事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討していきたいと思っています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		内部研修にて職員の虐待の防止について研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者から同意を得ています。 現在、身体拘束を必要とするこどもはいません。	